

公立高校授業料が  
無償化になるのに…

これでは、

安心して学校に  
通えませんか！

お金を心配なく高校に通えるように、手立てを講じて

日本共産党府議団が  
予算委総括質疑で追及

国民の世論と運動により、今年4月から公立高校授業料の無償化が始まります。一方、京都府の私立高校授業料の実質無償化の提案は、大きな問題を抱えています。「経済的事情で退学者を生まないように、全力をあげよ」と知事に求めました。

## 京都府の私立高校授業料無償化制度では…

### わずか800人しか対象にならない

年収350万円未満世帯を実質無償化する制度では、京都の私立高校生2万8000人のうち800人、わずか3%しか対象となりません。せめて年収500万円まで引き上げるべきです。

大阪府は、来春から年収680万円未満まで対象に

### 他府県に通う生徒は対象外

京都府から他府県の私立高校生に通う1700人は対象外で、制度の適用を求めました。知事は「大阪と滋賀が廃止したから」と答弁し、生徒や保護者の実態をみない態度をとりました。

奈良県や兵庫県では、他府県に通う子どもも対象

## 公立高校では

### 修学旅行に行けない生徒が70人も

授業料以外に、修学旅行代、通学費、クラブ活動費など20万円から30万円かかります。今の給付制奨学金では、住民税非課税世帯の母子家庭など、限られており、しかも年間6万円しかありません。

### 対象者であっても利用できない

私立高校の負担が必要な制度のため、学校によって希望者全員が利用できないことになってしまいます。府が直接生徒に支援すべきです。

愛知県、山形県、兵庫県など多くの府県で、生徒への直接支援方式

# 産科・小児科・救急医療崩壊の危機

## 府南部地域の医療再生を

### 産科

「このままでは安心してお産ができない」  
「里帰り出産もできない」

宇治市では病院の分娩休止が相次ぎ、城陽市では出産する医療施設がないなど深刻な産科不足。奈良まで通院する方も。

### 小児科・救急

「夜間や休日に子どもが急病になると、  
近くの病院で診てもらえないので不安」

公立山城病院では、整形外科の救急受入れできず。男山病院（八幡市）で小児科など診療科縮小の心配。救急は宇治徳洲会6000件（2009年）など、民間病院の頑張りでもギリギリの状態。

### これでは不十分です！

「府医療対策協議会」は一年ぶりに開催（2月5日）。  
ようやく設置した「府医療対策本部」への参加は府立医大のみ。

島根県では医師確保対策室を設置。常勤職員を配置し、県が関係機関と一体的に連携をとり対策を行っています。

## 京都府の責任で医師確保対策の抜本的強化を

- 府医療対策本部に専任職員を配置し、医師会、私立病院協会、京大病院、日赤などからの参加を得て、緊急医師確保・派遣対策を具体化する
- 南部の医師確保対策・拡充策の検討
- 救急医療輪番制の再構築、府の財政支援策の具体化
- 臨床研修指定病院への指導医の派遣や子育て環境の整備、住宅確保等システム整備

### 細菌性髄膜炎ワクチン（ヒブワクチン）

3歳くらいまでの子どもにとって最も怖い病気の細菌性髄膜炎に有効なヒブワクチンは、すでに130カ国以上で定期接種されています。

日本では、自己負担で4回接種で3万円程度かかり、負担が大変です。

すでに、東京都品川区、滋賀県長浜市など費用助成が始まり、兵庫県でも費用助成が提案されており、対応が急がれます。

### 公費・定期接種化を



公費、定期接種を求め、共産党府議団と懇談するお母さんたち